

The background features a decorative graphic consisting of three blue circles of varying sizes and two thin blue lines. One large circle is at the top center, a smaller one is below it to the right, and another large circle is at the bottom right. Two thin lines intersect at the top left and extend towards the center and bottom right.

2024（令和6年度）

事業報告書

社会福祉法人 十条龍谷会

目 次

法人概要.....	2
法人.....	3
1. 総括	
2. 理事会開催状況	
3. 評議員会の開催状況	
4. 評議員選任・解任委員会の開催状況	
5. 理事・監事の状況	
6. 評議員の状況	
7. 評議員選任・解任委員の状況	
8. 借入金返済状況	
9. 行政監査等	
10. 社会貢献活動	
施設部.....	7
1. 特別養護老人ホーム（短期入所生活介護含む）	
地域部.....	9
1. 居宅介護支援事業所	
2. 訪問介護事業所	
3. 定期巡回随時対応型訪問介護看護・夜間対応型訪問介護	
4. 就労継続支援事業所	
5. 介護員養成研修事業	
決算・その他	13

法人概要

1. 法人の名称 社会福祉法人 十条龍谷会
2. 主たる所在地 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町 40 番地 1
3. 代表者名 理事長 川邊 藏祐
4. 法人認可年月日 平成 16 年 12 月 18 日
5. 法人認可番号 京都市指令保福監第 89 号
6. 法人設立年月日 平成 16 年 1 月 5 日
7. 法人の実施する事業

事業区分	種別	事業所名	定員	事業認可日	事業所番号
第一種 社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム ビハーラ十条	100	平成 17 年 4 月 1 日	2670500350
第二種 社会福祉事業	(予防) 短期入所 生活介護	特別養護老人ホーム ビハーラ十条	8	平成 17 年 4 月 1 日	2670500350
	(予防) 訪問介護 事業所	訪問介護事業所 ビハーラ十条		平成 25 年 10 月 1 日	2670500350
	介護型ヘルプサー ビス	訪問介護事業所 ビハーラ十条		平成 27 年 4 月 1 日	2670500350
	生活支援型ヘルプ サービス	生活支援型ヘルプサ ービス事業所ビハー ラ十条		平成 29 年 4 月 1 日	26A0500049
	支え合い型ヘルプ サービス	支え合い型ヘルプサ ービス事業所ビハー ラ十条		平成 29 年 4 月 1 日	26A0500056
	定期巡回随時対応 型訪問介護看護	定期巡回随時対応型 訪問介護看護ビハー ラ十条		令和 6 年 12 月 1 日	2690500281
	夜間対応型訪問介 護	夜間対応型訪問介護 ビハーラ十条		令和 6 年 12 月 1 日	2690500281
	就労継続支援 A 型	就労継続支援事業所 ビハーラ十条	10	平成 28 年 10 月 1 日	2610581692
	就労継続支援 B 型	就労継続支援事業所 ビハーラ十条	10	平成 30 年 4 月 1 日	2610581692
公益事業	居宅介護支援事業	居宅介護支援事業所 ビハーラ十条		平成 24 年 10 月 1 日	2670500350
	介護員養成事業	初任者研修事業 ビハーラ十条		平成 27 年 10 月 1 日	2622

1. 総括

本年度は、デジタル化の推進から業務効率の向上を図り、各事業との連携強化から、業務支援に関する協力体制の構築に着手した。特に、勤怠管理・給与計算などのバックオフィス業務のクラウド化を実現し、事務局機能の最適化を図ることができた。それにより、データを活用した集計作業の一部自動化にも着手し、生産性向上につながる結果となった。

その他として、各事業所の指定・運営基準及び報酬の算定要件を点検する体制を強化。運営指導では文章指導されることなく適正な事業運営を行うことができた。

採用広報では、介護職員の活動参加を促し、「共に働く仲間を迎える」という意識を育成。採用活動を法人全体で取り組む体制へと再定義した。その効果が SNS 発信や採用活動でも現れ、法人全体として令和 7 年度新卒採用を 5 名確保することができた。

研修においては、基礎の徹底を目的に、法定研修の開催方法や内容を見直し、多くの職員の参加と、職員レベルにあった内容が学べる体制を強化。そして、実践発表を通して意識下に埋もれていた気付きに触れ、それを言語化することで学びにつなげる機会（全国発表・他法人合同実践発表会）を創出する取り組みができた。次年度は、更なる学びと実践ができる育成を行うため、今年度かけて構築した階層別研修と連動した選択型研修の実践を行う。

2. 理事会の開催状況

開催年月日	出席数	主な議案等
2024 年 5 月 28 日	【理事】 6 名 【監事】 2 名	1 令和 5 年度事業報告 2 令和 5 年度決算報告 3 令和 6 年度第一次補正予算 4 特養 運営規程変更 5 短期 運営規程変更 6 居宅 運営規程変更 7 訪問 運営規程変更 8 給与規程変更 9 機械浴槽契約方法変更 10 評議員会招集事項 11 評議員選任解任委員選任
2024 年 9 月 30 日	【理事】 6 名 【監事】 2 名	1 令和 6 年度二次補正予算 2 定期巡回 介護ソフト購入 3 定期巡回 運営規程 4 夜間訪問 運営規程 5 特養 運営規程変更 6 短期 運営規程変更 7 居宅 運営規程変更 8 訪問 運営規程変更 9 就労 A 運営規程変更 10 就労 B 運営規程変更 11 経理規程変更 12 給与規程変更

2025年3月31日	【理事】6名 【監事】2名	1	令和6年度第三次補正予算
		2	令和7年度 事業計画
		3	令和7年度 予算計画
		4	資金運用計画
		5	役員等賠償責任保険
		6	育児休業規程変更
		7	特養運営規程変更
		8	短期運営規程変更
		9	居宅運営規程変更
		10	訪問運営規程変更
		11	就労A運営規程変更
		12	就労B運営規程変更
		13	給与規程変更

1. 評議員会の開催状況

開催年月日	出席数	主な議案等
2024年6月17日	【評議員】7名	1 令和5年度決算報告

2. 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席数	主な議案等
開催なし		

3. 理事・監事の状況（令和7年3月31日現在）

職名	氏名	備考
理事長	川邊 藏祐	親族
常務理事	川邊 浩藏	親族
理事	仲谷 善弘	
理事	若原 道昭	
理事	積 徹宗	
理事	岡本 康宏	職員 特別養護老人ホーム施設長
監事	村山 惟子	
監事	大浦 充雄	

4. 評議員の状況（令和7年3月31日現在）

職名	氏名	備考
評議員	室 數隆	ビハーラ十条家族会 会長
評議員	野間 克博	
評議員	大場 秀住	
評議員	水谷 睦美	
評議員	安岡 弘志	
評議員	田中 崇則	京都市会議員
評議員	赤穂 尚範	司法書士

5. 評議員選任・解任委員の状況（令和7年3月31日現在）

職名	氏名	備考
委員	村山 惟子	
委員	原 健	
委員	研 義之	職員

6. 借入金返済状況

借入先 社会福祉・医療事業団（建設資金）

元 金	801,000,000 円
償還金	40,050,000 円
利 息	600,750 円
残債務	0 円

借入先 京都銀行 九条支店（設備資金）

元 金	70,000,000 円
償還金	8,760,000 円
利 息	224,274 円
残債務	37,150,000 円

借入先 社会福祉・医療事業団（経営資金）※新型コロナウイルス対応支援資金

元 金	60,000,000 円
償還金	0 円
利 息	0 円
残債務	60,000,000 円

7. 行政監査等

社会福祉法人等指導監査及び業務管理体制の検査

対象事業	
実施日	実施なし

介護保険サービス事業者に対する実地指導

対象事業	介護老人福祉施設、短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護、居宅介護支援事業所
実施日	令和7年1月16日

障がい福祉サービス事業に対する実地指導

対象事業	
実施日	実施なし

第三者評価

実施をした直近の年月日	令和5年3月29日
実施した評価機関の名称	京都府認知症グループホーム協議会
評価結果の開示状況	ホームページ

8. 社会貢献活動

■ ネットワーク活動（他機関との連携活動）

南区認知症サポートネットワーク（みなサポ）	代表：増田良平 構成員：石井勇亮
南区地域包括支援センター運営協議会	委員：増田良平 石井勇亮
南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議	世話人：左近華子
みなみ主任けあまねっと	構成員：石井勇亮
京都府介護支援専門員会	ブロック委員・代議員：石井勇亮
中部就労支援事業所部会	委員：櫻井祥太
南区プラットフォーム推進事業	委員：櫻井祥太
南区心の健康を考える会	委員：櫻井祥太
南区イベント開催プロジェクト	委員：櫻井祥太
京都市支援学校連携プロジェクト	委員：櫻井祥太

■ 地域に関する活動協力（他機関との連携活動）

上鳥羽南部いきいきセンター健やかサロン	【毎月2回開催：各20名参加】
その他地域住民集いの場 (介護予防・メンタルケア等のための音楽療法) 【計：約895名参加】	向日市鶏冠井社協 【年2回開催：各30名参加】 南区障がい育成会 【年1回開催：30名参加】 京都市健康すこやか学級（小学校区） ● 東山区：貞教・月輪・修道・一橋 ・今熊野 ● 左京区：上高野・鞍馬・北白川・錦林・ 明德・岩倉北 ● 伏見区：久我 ● 西京区：川岡 【各25名程度参加】

■ 地域での介護予防教室（法人独自活動）

あおに憩いの広場 【計：約2,400名】	介護予防のための卓球教室 【毎週2回】
	介護予防のためのストレッチ教室 【毎週2回】
	書道・ちぎり絵（芸術療法講座） 【毎週1回】
	生け花教室 【毎月1回】
	茶道クラブ 【毎月1回】
	グランドゴルフ教室 【毎週2回】

	介護予防・相談窓口 【毎週 1 件程度】 各教室＝毎回 5 名程度参加
十条団地集会場	茶話会 【毎月 2 回】
ひと・まち交流館	みんなの文化祭（鯉のぼり展示） 【令和 6 年 10 月 26 日開催：来場者多数】
上鳥羽南部いきいきセンター	鯉のぼりによる街づくり 【令和 7 年 3 月 1 日開催：約 30 名参加】

■ 地域での精神障がいを持つ方の集まる場所づくり（法人独自活動）

地域交流センター	こころひと息カフェ 【毎月 2 回開催：各 1～2 名参加】
----------	-----------------------------------

施設部事業報告

1. 総括

【収入】

目標稼働率（特別養護老人ホーム・短期入所生活介護）97.0%に対し 96.98%と未達成となった。年末年始にインフルエンザの大規模クラスター（令和 6 年 12 月 22 日～1 月 7 日 職員：17 名／お客様：50 名／計：67 名）が発生し、感染拡大防止から特別養護老人ホーム・短期入所生活介護の新規受け入れを中止せざるを得ず、稼働率に大きな影響を及ぼした。以後発生した新型コロナウイルスでは、この経験を活かした対策を講じ、小規模かつ短期間の終息に持ち込むことができた。

（新型コロナウイルス・インフルエンザ罹患者発生状況 前年度比較）

年度	感染数			新規受入 中止日数
	職員	お客様	計	
令和 5 年度	17	53	70	139
令和 6 年度	25	61	86	191

ケアプラン作成の介護職員参画の取り組みにおいて、お客様・ご家族様に生活や介護に対するニーズ抽出から、目標・サービス内容立案・実践を行うことでサービスの質向上につながった。それにより、状態変化による早期発見・早期対応から、重度化を予防でき前年度比で入院日数を 174 日減少することができた。また、他職種連携による介護・疾病予防の取り組みから、脳血管疾患による入院者が 1 名、褥瘡や蜂窩織炎などの皮膚トラブルによる入院者を 0 名に抑えることができた。

この取り組みから、お客様の理解が深まると共に、ご家族様との日常的な情報共有から、より意向に沿った看取り介護を行うことができるようになった。

【支出】

昨年度同様、以下の点から支出が増加している。

① 介護職の人材紹介サービス利用

2024年12月の新規事業開設に対し、特別養護老人ホームから職員を異動。その補充を人材紹介サービス利用したことで支出が増加。全国的な人材不足から、人材紹介サービスを利用しても若年層の採用が難しい中、SNS やホームページなど若年層を意識した広報活動の展開により、20.30代職員を採用することができた。

【その他】

離職防止の取り組みにおいては、ハラスメント対策・同期会・福利厚生制度の内容見直し・実践発表や他施設の見学・サービスの質向上への取り組みなどにより、職員のやりがい創出と帰属意識を高めることができ、離職率（常勤）4.3%と過去最低値を達成できた。

公益財団法人 JKA 競輪とオートレースの補助事業（福祉機器の整備）の補助金を活用し、特殊浴槽 2 基を導入した。

2. 平均入所・短期入所稼働率

単位：%

	入所	短期	計
R6	94.25%	131.15%	96.98%

3. 平均要介護度

	要介護度
R6	3.7

4. 平均年齢

	年齢
R6	88歳8か月

5. 平均在所期間

	在所期間
R6	1,247日

6. 入退所者数

	入所	退所
R6	21人	20人

7. 防災

	実施日	実施内容
R6	令和6年10月23日	自衛消防・避難訓練（夜間想定）
	令和7年3月11日	自衛消防・避難訓練（昼間想定）
	令和6年10月17日	洪水に関する避難確保訓練
	令和7年3月11日	京都市シェイクアウト訓練

- 8. 会議・委員会
計画通り実施
- 9. 研修
別紙参照

地域部事業報告

1. 居宅介護支援事業所

① 総括

行政・医療・福祉機関との交流や研修企画開催、事例検討会への参加などを通して自己研鑽に努めると共に、支援困難ケースをチームで支援したことから、各職員の専門知識が共有でき、チーム全体の能力向上につながった。

また、チーム全体のパフォーマンス力を高めるため、職員個々の適正に合わせた役割分担を部分的に試行。活躍できる場の創出と共に、モチベーション向上にもつながる結果となり、次年度からの新たなチーム作りの方向性を導き出した。

② 契約件数（令和7年3月31日現在）

R6	120 件
----	-------

③ 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	21 件	31 件

④ 認定調査委託件数

	京都市	京都市以外	合計
R6	67 件	2 件	69 件

⑤ その他

南区地域包括支援センター運営協議会	会議	年 2 回
みなみ主任けあまねっと	会議	年 10 回
	研修会企画開催	年 2 回
他法人居宅介護支援事業所と共同研修	事例検討会	年 1 回
南区認知症サポートネットワーク	会議	年 3 回
南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議	会議	年 7 回
	研修会企画開催	年 3 回

2. 訪問介護事業所

① 総括

本年度は、介護報酬改定により基本報酬単価が引き下げとなった。また、長期間利用のお客様が、入院や逝去、他サービス（定期巡回・施設入所）への移行から終了となり、契約数は前年度から減少した。

しかし、生活援助から身体介護への支援内容変更や利用回数増加により、前年度より介護保険事業収入が微増となり、基本報酬単価引き下げによる影響を防ぐことができた。

新たに常勤職員1名がサービス提供責任者となり、契約から請求業務まで一連の流れを学ぶことで、来年度に向けた新規利用者の受け入れ体制が強化できた。

また、登録ヘルパーの評価と時給がより連動する体系に見直し、モチベーションの維持・向上につながり、今年度も退職者を出さず職員の定着に取り組むことができた。

② 契約件数（令和7年3月31日現在）

R6	61件
----	-----

③ 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	13件	22件

3. 定期巡回随時対応型訪問介護看護・夜間対応型訪問介護

① 総括

令和6年12月に開設して以降、当法人がこれまで積み重ねてきた信頼と実績、特別養護老人ホームで培われた質の高いサービスが評価され、計画を上回る契約数を達成することができた。しかし、短期間での新規利用者数の増加により、在宅訪問の経験がない職員の負担が強くみられた。次年度は、より職員の状況にあった個別研修計画の実践とフォロー体制を強化し、経験を積み重ねられる育成体制を構築し、信頼してもらえる事業所を目指す。

【定期巡回随時対応型訪問介護】

① 契約人数（令和7年3月31日現在）

R6	9名
----	----

② 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	11名	2名

【夜間対応型訪問介護】

② 契約人数（令和7年3月31日現在）

R6	6名
----	----

③ 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	6名	0名

4. 就労継続支援事業所

① 総括

全国的な人財不足の中、令和7年度新卒採用者1名確保することができ、更なる事業規模拡大に向けた体制を整えることができた。離職防止への取り組みとして、職員間のコミュニケーションや情報共有の場を意識的に設け、退職者を発生することなく定着を維持できた。

育成においては、外部研修を各職員年間3回受講して資質向上に努めた。また、利用者に対して細やかな利用計画の申し合わせ（モニタリング・アセスメント・計画説明）から、当事業所のサービス内容や接遇を理由にした利用中止は発生せず、サービスの質の向上が図られている。

利用者へのサービス提供として、一般雇用に向けた企業実習を3名支援し、1名（B型）は令和6年度中に一般雇用につなげることができ、2名（A型）は令和7年度中に一般雇用につながる予定となった。

利用状況として、A型は利用予定100%であり、一般雇用による利用終了者が見込まれるため、新たな利用者の獲得が目下の課題である。B型においては、当事業所A型への利用移行や体調不良による入院・利用休止により利用率が落ち込んだ。

しかし、SNSやインターネットサイトの継続した情報発信により、見学者・新規利用者確保につながっており、利用率も回復傾向となった。

地域貢献活動としては、子育て世代の母親支援として、保育士が子どもをあずかるランチカフェ、学生を対象としたユースカフェ事業の支援協力を開始したが、主催者の都合により事業が休止となった。しかし、昨年度から当事業所主催でマルシェを開催しており、来場者・売上が前年度比115%を達成することができた。

【就労継続支援A型事業所】

① 契約人数（令和7年3月31日現在）

R6	17名
----	-----

② 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	8名	2名

※ 契約終了者数のうち2名はB型に移行

③ 契約割合（令和7年3月31日現在）

	精神障害保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳
R6	58.8%	35.3%	5.9%

【就労継続支援B型事業所】

③ 契約人数（令和7年3月31日現在）

R6	11名
----	-----

④ 新規契約・契約終了

	新規契約数	契約終了数
R6	6名	8名

※ 契約終了者数のうち2名はA型に移行

⑤ 契約割合（令和7年3月31日現在）

	精神障害保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳
R6	72.7%	18.2%	9.1%

⑥ 見学

	延べ日数	延べ人数
R6	31日	50人

⑦ 就労体験・実習受入

	延べ日数	延べ人数
R6	208日	22人

【就労体験・実習受入状況】

京都市社会福祉協議会 チャレンジ就労体験

京都医療福祉専門学校

京都府立京都障害者高等技術専門校

京都市立呉竹総合支援学校

京都府立八幡支援学校

京都市立鳴滝支援学校

京都府立盲学校

奏和高校

LITALICO

エンカレッジ京都

LEC リーガルマインド

コネクト

ヒューマンプラス

相談支援事業所ブルーディジー

健光園

支援センター南丹

アステラ

京都障害者職業相談室

公共職業安定所、西陣、伏見、七条、宇治

5. 介護員養成研修事業（初任者研修事業）

令和6年度入職者（無資格）の2名が受講し資格取得することができた。所属ユニット以外
の先輩職員が講師を務めることで、他ユニットの取り組みなどを学ぶことができ、介護観が深
まる研修となった。講師職員も介護の基本を教えることで自分たちの介護を見直す機会となり、
新たな取り組みに発展するなどの効果を得ることができた。

決算報告

- ① 資金収支予算書 ※別紙報告書参照
- ② 資金収支計算書 ※別紙報告書参照
- ③ 事業活動収支計算書 ※別紙報告書参照
- ④ 貸借対照表 ※別紙報告書参照
- ⑤ 財産目録 ※別紙報告書参照

その他

① 各種団体加入状況

京都市老人福祉施設協議会 近畿老人福祉施設協議会
京都府社会福祉法人経営者協議会
全国社会福祉法人経営者協議会
京都府社会福祉法人経営青年会 近畿青年経営者会 全国社会福祉法人経営青年会
南区社会福祉協議会
南防犯協会

② 所属関係団体等活動

京都市老人福祉施設協議会 人材確保定着委員会 : 岡本康宏
京都市老人福祉施設協議会 ハートメッセンジャーブロックリーダー: 市川萌子
京都市老人福祉施設協議会 ハートメッセンジャー: 市川萌子・馬場真孝・川越美佳
南区認知症サポートネットワーク 代表: 増田良平 構成員: 石井勇亮
南区地域包括支援センター運営協議会 委員: 増田良平
南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議 世話人: 左近華子
下京西部医師会医療福祉交流ネットワーク委員会 委員: 荻谷庸平
中部就労支援事業所部会 運営委員: 櫻井祥太
南区こころの健康を考える会 運営委員: 櫻井祥太
南区プラットフォーム推進事業: 櫻井祥太